



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月10日

上場取引所 名

上場会社名 中部証券金融株式会社
コード番号 8513 URL <http://www.chusvokin.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 湯本 崇雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 村瀬 洋

TEL 052-251-1301

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|------|------|------|------|------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第2四半期 | 463 | 2.9 | 135 | 37.3 | 178 | 20.9 | 122 | 15.6 |
| 27年3月期第2四半期 | 450 | △8.9 | 98 | △9.9 | 147 | △0.1 | 106 | △0.9 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第2四半期 | 154.47 | — |
| 27年3月期第2四半期 | 133.57 | — |

(注)平成27年10月1日付で普通株式5株を1株の割合で併合したため、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年3月期第2四半期 | 51,866 | 3,795 | 7.3 |
| 27年3月期 | 54,268 | 4,259 | 7.9 |

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 3,795百万円 27年3月期 4,259百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | — | — | 12.00 | 12.00 |
| 28年3月期 | — | — | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | 60.00 | 60.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月31日を基準日とする期末配当金の予想は、平成27年10月1日を効力発生日として実施した普通株式5株を1株とする株式併合を踏まえております。

3. 平成28年 3月期の業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|------|------|------|-----|------|-----|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 860 | △0.1 | 180 | 3.5 | 270 | 1.2 | 180 | △1.6 | 226.76 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

「1株当たり当期純利益」は、平成27年10月1日を効力発生日として普通株式5株を1株の割合で併合したため、当該株式併合を考慮し算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|-----------|--------|-----------|
| 28年3月期2Q | 800,000 株 | 27年3月期 | 800,000 株 |
|----------|-----------|--------|-----------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|---------|--------|---------|
| 28年3月期2Q | 6,352 株 | 27年3月期 | 6,201 株 |
|----------|---------|--------|---------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-----------|----------|-----------|
| 28年3月期2Q | 793,678 株 | 27年3月期2Q | 793,999 株 |
|----------|-----------|----------|-----------|

(注)平成27年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で併合したため、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている事業見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、業績予想における「1株当たり当期純利益」は、平成27年10月1日を効力発生日として普通株式5株を1株の割合で併合したため、当該株式併合を考慮し算定しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| 第2四半期累計期間 | 6 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |
| (重要な後発事象) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（平成27年4月1日から同年9月30日までの6ヶ月間）のわが国経済は、企業収益や雇用情勢に改善が見られ、設備投資にも持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調をたどりました。一方海外に目を向けますと、中国を中心とする新興国の景気の下振れや、米国の利上げ開始時期に対する警戒、欧州の大手自動車メーカーの排出ガス規制不正問題の影響など、先行きについては、わが国の景気を下押しするリスクに留意する必要があります。

株式市況についてみますと、19,034円で始まった日経平均株価は、企業業績の拡大やGPIFの国内株式運用比率引き上げ、米国の好調な経済指標等を背景に上昇基調を維持しました。しかし8月に入ると、人民元の基準値切り下げをきっかけに株価は下落し、その後も中国の景気減速懸念を背景とした世界経済の先行き不透明感が株価の下落を誘う展開となりました。最終的には17,388円で取引を終了しました。

こうした環境の下、当社の資金運用状況をみますと、まず、貸付金は貸借取引貸付金及び顧客向け一般貸付金の増加を主な要因として、期中運用平均残高は61億円と、前年同四半期（49億円）比11億円の増加となりました。

貸付金以外の運用面をみますと、有価証券投資の期中運用平均残高は381億円と、前年同四半期（420億円）比38億円の減少となりました。また、現金担保付きレポ取引による借入有価証券代り金の期中運用平均残高は73億円と、前年同四半期（68億円）比4億円の増加となりました。

こうした運用状況の下、当第2四半期の営業収益は4億63百万円と一般貸付金利息の増収を中心として前年同四半期（4億50百万円）比12百万円の増収となりました。営業費用は支払利息が減少し1億23百万円と、前年同四半期（1億31百万円）比8百万円減少しました。また、一般管理費は退職給付引当金の戻入を主因として前年同四半期（2億20百万円）比15百万円減少し、2億4百万円となりました。

この結果、当第2四半期の営業利益は1億35百万円と、前年同四半期（98百万円）比36百万円の増益となりました。また、これに営業外損益を加減算した経常利益は1億78百万円と前年同四半期（1億47百万円）比30百万円の増益となりました。最終的に税金費用を減算した四半期純利益は1億22百万円と、前年同四半期（1億6百万円）比16百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は、未収入金の減少を主な要因として518億66百万円と、前事業年度末に比べ24億2百万円の減少となりました。負債は未払金の減少を主な要因として480億71百万円と前事業年度末に比べ19億37百万円の減少となりました。また、純資産はその他有価証券評価差額金が減少したことにより37億95百万円と、前事業年度末に比べ4億64百万円の減少となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国経済は、好調な企業業績や政府の景気対策への期待を背景に、引き続き緩やかな景気の回復が続くことが期待される一方で、米国の利上げ開始時期や中国を中心とした新興国の景気の下振れなど海外の動向に留意が必要です。

こうした想定の下、当社といたしましては、中部地区における証券金融の専門機関として、証券界及び投資家の多様化するニーズ等に適切に対応し、貸付金残高の確保等に努めてまいります。平成28年3月期の業績予想につきましては、前回（平成27年4月27日）公表の予想値から変更しておりません。

また、業績予想につきましては、さまざまな不確定要素が内在しておりますので、実際の業績は公表予想値とは異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 961,686 | 615,509 |
| 貸借取引貸付金 | 1,592,229 | 850,206 |
| 一般貸付金 | 4,587,596 | 5,061,896 |
| 貸借取引貸付有価証券 | 17,273 | 43,621 |
| 借入有価証券代り金 | 7,310,963 | 7,315,029 |
| 未収入金 | 5,271,347 | 1,049,254 |
| その他 | 115,951 | 116,602 |
| 流動資産合計 | 19,857,048 | 15,052,120 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 50,807 | 48,955 |
| 無形固定資産 | 17,119 | 67,143 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 33,787,687 | 35,660,322 |
| その他 | 556,161 | 1,038,275 |
| 投資その他の資産合計 | 34,343,849 | 36,698,597 |
| 固定資産合計 | 34,411,776 | 36,814,696 |
| 資産合計 | 54,268,825 | 51,866,817 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| コールマネー | 5,000,000 | 7,000,000 |
| 短期借入金 | 35,300,000 | 36,300,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,000,000 | 3,000,000 |
| 未払金 | 5,782,818 | 1,059,583 |
| 未払法人税等 | 52,985 | 50,872 |
| 貸付有価証券代り金 | 17,273 | 43,621 |
| 担保金 | 270,000 | 270,000 |
| 預り金 | 5,048 | 4,423 |
| 預り有価証券 | 15,525 | 43,328 |
| 賞与引当金 | 17,405 | 17,738 |
| 役員賞与引当金 | 7,900 | 3,600 |
| その他 | 45,496 | 41,453 |
| 流動負債合計 | 48,514,453 | 47,834,621 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,000,000 | — |
| 繰延税金負債 | 322,102 | 70,463 |
| 退職給付引当金 | 131,028 | 124,730 |
| 役員退職慰労引当金 | 41,944 | 41,944 |
| 固定負債合計 | 1,495,074 | 237,137 |
| 負債合計 | 50,009,527 | 48,071,758 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 200,000 | 200,000 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | 50,000 | 50,000 |
| その他利益剰余金 | | |
| 配当準備積立金 | 191,000 | 191,000 |
| 圧縮記帳積立金 | 18,968 | 18,822 |
| 別途積立金 | 1,530,000 | 1,530,000 |
| 繰越利益剰余金 | 1,480,267 | 1,555,387 |
| 利益剰余金合計 | 3,270,235 | 3,345,209 |
| 自己株式 | △7,259 | △7,534 |
| 株主資本合計 | 3,462,975 | 3,537,675 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 796,321 | 257,383 |
| 評価・換算差額等合計 | 796,321 | 257,383 |
| 純資産合計 | 4,259,297 | 3,795,058 |
| 負債純資産合計 | 54,268,825 | 51,866,817 |

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 営業収益 | | |
| 貸付金利息 | 57,922 | 68,701 |
| 借入有価証券代り金利息 | 1,260 | 905 |
| 受取手数料 | 4,941 | 4,511 |
| 有価証券貸付料 | 2,655 | 1,454 |
| 有価証券利息配当金 | 384,142 | 388,327 |
| 営業収益合計 | 450,921 | 463,900 |
| 営業費用 | | |
| 支払利息 | 84,924 | 77,354 |
| 支払手数料 | 43,803 | 43,907 |
| 有価証券借入料 | 2,775 | 2,026 |
| 営業費用合計 | 131,503 | 123,287 |
| 営業総利益 | 319,418 | 340,612 |
| 一般管理費 | 220,619 | 204,954 |
| 営業利益 | 98,798 | 135,658 |
| 営業外収益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 1,213,898 | 985,699 |
| デリバティブ取引運用益 | — | 290,387 |
| その他 | 1,404 | 1,206 |
| 営業外収益合計 | 1,215,303 | 1,277,292 |
| 営業外費用 | | |
| 投資有価証券売却損 | 324,725 | 1,210,847 |
| デリバティブ取引運用損 | 823,585 | — |
| その他 | 18,301 | 23,846 |
| 営業外費用合計 | 1,166,612 | 1,234,694 |
| 経常利益 | 147,489 | 178,256 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 5 | 391 |
| 特別損失合計 | 5 | 391 |
| 税引前四半期純利益 | 147,483 | 177,865 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 44,780 | 53,018 |
| 法人税等調整額 | △3,352 | 2,245 |
| 法人税等合計 | 41,428 | 55,263 |
| 四半期純利益 | 106,055 | 122,601 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業は、有価証券を担保とした貸付業務及び有価証券運用業務並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。